

このホームページに掲載した決算情報には、証券取引法に定められる「重要事実」に該当する情報が含まれている可能性があります。

その「重要事実」が証券取引法施行令の規定に従い公開された後、12時間を経過する前に当社株式の売買を行いますと、インサイダー取引規制に抵触する恐れがありますので、ご注意ください。

平成 16年 3月期 第1四半期業績の概況(連結)

平成 15年 7月 31日

上場会社名 九州電力株式会社

(コード番号：9508 東証第1部・大証第1部・福証)

(URL <http://www.kyuden.co.jp>)

代表者 取締役社長 松尾 新吾

問合せ先責任者 経理部決算グループ長 伊藤 章延

(TEL：(092) 761-3031)

1. 四半期業績の概況の作成等に係る事項

売上高の会計処理の方法の最近連結会計年度に：無
おける認識の方法との相違の有無

連結範囲に関する事項：連結子会社数 19社 (うち新規 6社)

2. 平成 16年 3月期第1四半期業績の概況(平成 15年 4月 1日 ~ 平成 15年 6月 30日)

(1)売上高

(金額の表示 百万円未満切捨て)

	百万円	%
16年 3月期 第1四半期	312,892	-
15年 3月期 第1四半期	-	-
(参考) 15年 3月期	1,421,310	

(注) パーセント表示は、対前年同四半期増減率
当期から四半期業績の開示を行っているため、前年同四半期及び対前年同四半期増減率についての記載はしていない。

[売上高に関する補足説明]

電気事業において販売電力量の増加などはありませんでしたが、昨年10月から電気料金の値下げを実施したことなどから売上高は 3,128億円となりました。

なお、電気事業の販売電力量につきましては、一般需要は、電灯や業務用電力の需要数の増加に加え、前年に経営破たんした大手スーパーの一部店舗再開などから、前年同四半期に比べ 1.9%の増加となりました。また、大口産業用需要は、生産が高水準で推移した鉄鋼、電気機械の増加に加え、一部工場において自家発から売電への振替がみられたことなどから、前年同四半期に比べ 1.5%の増加となりました。この結果、当第1四半期の販売電力量は 176億7千万kWhとなり、前年同四半期に比べ 1.8%の増加となりました。

販売電力量比較表

(単位:百万kWh, %)

		16年3月期第1四半期 (A)	15年3月期第1四半期 (B)	増 減 (A - B)	前年同四半期比 (A / B)
特 定 規 模 外	電 灯	5,741	5,721	20	100.4
	電 力	7,671	7,488	183	102.4
	電灯電力計	13,412	13,209	203	101.5
特定規模需要		4,265	4,158	107	102.6
販売電力量合計		17,677	17,367	310	101.8
再 掲	一 般 需 要	12,549	12,314	235	101.9
	大 口 電 力	5,128	5,053	75	101.5

(2)当該四半期において企業集団の財政状態及び経営成績に重要な影響を与えた事象

該当する事象は発生していません。

3. 平成 16年 3月期の連結業績予想(平成 15年 4月 1日 ~ 平成 16年 3月 31日)

中間期及び通期の業績予想につきましては、概ね当初予想どおりに推移しており、本年5月に公表いたしました予想に変更はありません。

上記の予想は本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき判断したものであり、実際の業績は今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。